

公共事業再評価調査

整理番号 H27-4

担当部課名	県土整備部 道路課	電話番号	017-734-9651
		E-MAIL	doro@pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件	<input type="radio"/> 未着工 <input type="radio"/> 長期継続 (年) <input checked="" type="radio"/> 再評価後 (5 年) <input type="radio"/> その他 ()
---------	---

1 事業概要

事業種別	道路改築事業	事業主体	<input checked="" type="radio"/> 県 <input type="radio"/> 市町村 <input type="radio"/> その他 ()																																																		
事業名	県道改築事業	地区名等	柞手倉橋線上横沢Ⅱ期	市町村名	新郷村																																																
事業方法	<input type="radio"/> 国庫補助 <input checked="" type="radio"/> 交付金 <input type="radio"/> 県単独 財源・負担区分 <input checked="" type="radio"/> 国 65 % <input checked="" type="radio"/> 県 35 % <input type="radio"/> 市町村 % <input type="radio"/> その他 %																																																				
採択年度	平成 13 年度 (用地着手 平成 13 年度 / 工事着手 平成 13 年度)																																																				
終了予定年度	平成 30 年度 (平成 年 月 工期変更 (再々評価時 平成 年度))																																																				
事業目的	<p>・一般県道柞手倉橋線は、新郷村戸来を起点とし、国道454号と交差し五戸町手倉橋にいたる延長約18.4kmの道路である。</p> <p>本路線は、交通基盤の脆弱な新郷村南部の集落への骨格路線である国道454号を連絡する路線であり、生活上欠かさない生活道路である。当該地区は、車道幅員が狭小 (Wmin=3.0m) で急勾配、急カーブが連続するため、国道454号へのアクセス向上を図るため整備するものである。</p> <p>【計画名称】 青森県の道づくり基本方針 (平成14年度策定) 交流促進と連携強化を支援するあおもりの道づくり</p> <p>【計画目標】 ①生活・経済圏の連携強化。②農水産品の都市への円滑な輸送 ③国土保全を担う中山間地域と都市の支援。④交通拠点へのアクセス性強化 ⑤救急医療体制の支援</p>																																																				
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>再評価時</th> <th>再々評価時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画延長</td> <td>1,300 m</td> <td>1,300 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>計画幅員</td> <td>5.5(7.0) m</td> <td>5.5(7.0) m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>改良工</td> <td>1,300 m</td> <td>1,300 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>(内切土量)</td> <td>200,000 m³</td> <td>46,300 m³</td> <td>△ 153,700 m³</td> </tr> <tr> <td>舗装工</td> <td>9,100 m²</td> <td>9,100 m²</td> <td>0 m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>・再評価時から縦断計画を見直し、切土量が大幅に減少した。</p>					区 分	再評価時	再々評価時	増 減	計画延長	1,300 m	1,300 m	0 m	計画幅員	5.5(7.0) m	5.5(7.0) m	0 m	改良工	1,300 m	1,300 m	0 m	(内切土量)	200,000 m ³	46,300 m ³	△ 153,700 m ³	舗装工	9,100 m ²	9,100 m ²	0 m ²																								
区 分	再評価時	再々評価時	増 減																																																		
計画延長	1,300 m	1,300 m	0 m																																																		
計画幅員	5.5(7.0) m	5.5(7.0) m	0 m																																																		
改良工	1,300 m	1,300 m	0 m																																																		
(内切土量)	200,000 m ³	46,300 m ³	△ 153,700 m ³																																																		
舗装工	9,100 m ²	9,100 m ²	0 m ²																																																		
事業費	<p>○再評価時総事業費 1,030 百万円 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>～24年度</th> <th>～25年度</th> <th>～26年度</th> <th>～27年度</th> <th>小 計</th> <th>28年度～</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>① 504</td> <td>101</td> <td>605</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>② (25)</td> <td>(5)</td> <td>(30)</td> </tr> <tr> <td>〈 年 月変更〉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>143</td> <td>62</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>③ 305</td> <td>300</td> <td>⑤ 605</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>(30)</td> <td>(0)</td> <td>(0)</td> <td>(0)</td> <td>④ (30)</td> <td>(0)</td> <td>⑥ (30)</td> </tr> </tbody> </table>						～24年度	～25年度	～26年度	～27年度	小 計	28年度～	合 計	計 画					① 504	101	605	(うち用地費)	()	()	()	()	② (25)	(5)	(30)	〈 年 月変更〉								実 績	143	62	0	100	③ 305	300	⑤ 605	(うち用地費)	(30)	(0)	(0)	(0)	④ (30)	(0)	⑥ (30)
	～24年度	～25年度	～26年度	～27年度	小 計	28年度～	合 計																																														
計 画					① 504	101	605																																														
(うち用地費)	()	()	()	()	② (25)	(5)	(30)																																														
〈 年 月変更〉																																																					
実 績	143	62	0	100	③ 305	300	⑤ 605																																														
(うち用地費)	(30)	(0)	(0)	(0)	④ (30)	(0)	⑥ (30)																																														

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			50.4 % [③/⑤]	60.5 % [③/①]
			(100 %) [④/⑥]	(120 %) [④/②]
	主要工種	改良工 (490百万円)	62.2 %	74.7 %
毎割合 (事業費)	舗装工 (115百万円)	0 %	0 %	
		(百万円)	%	%
説 明	<p>・平成13年度に県単独事業として事業着手したが、県の公共事業費削減により、他の完了工区等へ優先配分をしたこと等により平成15年から平成22年まで事業を休止としていた。</p> <p>平成23年度から事業を再開したことにより、今後は、事業の促進を図りたい。</p> <p>・縦断計画を見直し切土量を減らしたことで事業費を削減した。</p>			
問題点・解決見込み	<p>・地域からの理解が得られ用地取得は完了しており、今後は事業の促進を図りたい。</p>			
事業効果発現状況	(部分供用なし)			

(2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 平成24年3月に閣議決定された「第3次社会資本整備重点計画」では、東日本大震災を教訓とした国民の命と暮らしを守る持続可能で活力のある国土・地域づくりの実現を図るために、選択と集中の方針の下、効果的・効率的に道路整備を進めるとともに、大規模災害時における緊急車両の進入路・避難路として機能する道路の整備を推進することが必要とされている。	【県内の評価】 自動車交通への依存度が高い本県では、道路整備に対する根強い要望がある。 東日本大震災を契機として、これまで道路に必要とされてきた通行機能に加えて、災害発生時の防災機能（緊急物資輸送や避難路等）確保の重要性が再認識されている。
	当地区における評価	・新郷村は、村内の大部分を山林原野が占め、集落は山間部に点在しているため、集落間を連絡する道路は山間部を縫うように形成されており、道路網としての機能が非常に脆弱である。 また、各集落から新郷村の各公共施設への連絡には、村内を横断する国道454号を経由する必要があることから、本路線から国道454号へのアクセスの強化が求められている。	
必要性	・集落と基幹道路を連絡する道路として防災上及び交通安全上重要な路線であることから、隘路区間を解消するため整備する必要がある。		(a) b
適時性	・当工区は、未改良区間であるため、未舗装、幅員狭小などの道路構造上の課題により、防災上・交通安全上支障となっている。また、当工区の前後区間が改良済みであることから、道路規格が不連続状態であり地域間のアクセスに支障をきたしていることから、通行機能を向上させるために整備を進める必要がある。		(a) b
地元の推進体制等	・用地取得は完了しており、地域住民からの理解が得られ当該工区の早期完成が望まれている。		(a) b
効率性	・本路線の整備により冬期間の大幅な迂回が解消され、走行時間の短縮など地域住民の円滑な交通確保が見込まれる。		

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 事業費	910 百万円	588 百万円	△ 322 百万円
	(2) 維持修繕費	69 百万円	75 百万円	6 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	979 百万円	663 百万円	△ 316 百万円
便益項目 (B)	(1) 走行時間短縮便益	395 百万円	477 百万円	82 百万円
	(2) 走行費用減少便益	37 百万円	45 百万円	8 百万円
	(3) 交通事故減少便益	4 百万円	1 百万円	△ 3 百万円
	(4) 冬期便益	350 百万円	141 百万円	△ 209 百万円
	(5) 防災便益	83 百万円	75 百万円	△ 8 百万円
	総便益(B)	869 百万円	738 百万円	△ 130 百万円
	地域修正係数(φ)	1.461	1.461	
	修正総便益(B')	1,270 百万円	1,078 百万円	△ 191 百万円
費用便益比	費用便益比(B/C)	0.89	1.11	
	修正費用便益比(B'/C)	1.30	1.63	
費用対効果分析 (B/C)	【費用対効果分析手法】 （分析手法、根拠マニュアル等） ・費用便益分析マニュアル(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) ・道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱(平成21年2月 青森県 県土整備部 道路課)			(a) b
再評価時との比較	【再評価時との比較における要因変化】 ・縦断計画の見直しコスト削減を図ったことにより事業費減となった。			(a) b

(4) コスト削減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト削減	【コスト削減の検討状況】 ・縦断計画の見直し、切土量を減少させたことによりコスト削減を図った。 ・路盤材・舗装合材に再生材を使用し、経費の削減を図ることとしている。 ・排水施設等の小規模構造物については極力、工場製品を使用し、工期の短縮及び経費の削減を図っている。	a. b
代替案	【代替案の検討状況】 ・比較ルートとしては、バイパスなどが考えられるが、当該区間は山間部を縦断する路線であり、現道を活用し地形の改変を最小限に抑え実施中のルートが最適であるとする。	a. b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 ・新郷村から早期整備を求める重点要望が出されている。	【住民ニーズ・意見】 ・地域住民は、公共施設が立地している戸来地区への移動に大幅な迂回を強いられており、根本的な改善が求められている。	a. b
環境影響への配慮	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 (1)対応状況 ● 配慮している ○ 配慮していない (2)区分 ● 農林地等の緑地や植生の改変 ● 地形や地盤の改変 ○ 水系や水辺の変更 ○ 海域環境の変更 ● 敷地整備段階での重機の使用 ● 土砂等の搬出・搬入 ○ 廃棄物処理等 ● 道路(車歩道)、雨水排水路の設置 ○ 基礎や地下建造物の建設 ○ 低層建築物の建設 ○ 高層建築物・大規模施設等の建設に係る環境配慮 ○ 高架構造物の建設 ○ 海底・海中建造物の設置や建設 (3)特に配慮する対応内容 ・切土または盛土により植生等を改変する場合は、張芝等により緑化を行い代替措置を講じている。 ・低騒音・低振動仕様の重機を使用している。 ・産業廃棄物は再資源化施設へ搬入し、リサイクルに努めている。		a. b
地域の立地特性	(地域指定) 過疎地域、振興山村地域、豪雪地帯及び積雪寒冷特別地域 (災害の記録) なし(ただし、異常気象時通行規制区間内である。) (危険箇所情報) なし		

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	● 継続 ○ 計画変更 ○ 中止 ○ 休止
評価理由	・全ての項目が「A」評価であることから、対応方針を「継続」とした。
備考	

4 公共事業再評価等審議委員会意見

委員会意見	● 対応方針(案)どおり ○ 対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	● 継続 ○ 計画変更 ○ 中止 ○ 休止
附帯意見	(附帯意見がある場合に記載)
評価理由	(委員会意見が「対応方針(案)を修正すべき」の場合に記載)